

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第1区分
 【発行日】平成19年7月5日(2007.7.5)

【公開番号】特開2005-345119(P2005-345119A)

【公開日】平成17年12月15日(2005.12.15)

【年通号数】公開・登録公報2005-049

【出願番号】特願2004-161587(P2004-161587)

【国際特許分類】

G 01 R 29/08 (2006.01)

G 03 G 15/00 (2006.01)

G 03 G 15/16 (2006.01)

【F I】

G 01 R 29/08 Z

G 03 G 15/00 3 0 3

G 03 G 15/00 5 5 0

G 03 G 15/16 1 0 3

【手続補正書】

【提出日】平成19年5月21日(2007.5.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

読み書き可能な記憶手段を有する情報処理装置において、誘電体を有する装置の電位分布を時間 t ごとに解析する解析方法であって、

メッシュ分割された前記装置のシミュレーションモデルに対する定常状態の分極を要素ごとに算出し、

前記算出された定常状態の分極、および電圧を印加したときの時刻からの時刻 t における分極に基づいて、時刻 $t + t$ における分極を算出し、

前記算出された時刻 $t + t$ における分極から電位分布を算出し、前記記憶手段に格納する解析方法。

【請求項2】

請求項1の解析方法を実行するためのプログラム。

【請求項3】

誘電体を有する装置の電位分布を時間 t ごとに解析する情報処理装置において、

メッシュ分割された前記装置のシミュレーションモデルに対する定常状態の分極を要素ごとに算出し、前記算出された定常状態の分極、および電圧を印加したときの時刻からの時刻 t における分極に基づいて、時刻 $t + t$ における分極を算出し、

前記算出された時刻 $t + t$ における分極から時刻 $t + t$ における電位分布を算出する制御手段と、

前記算出された時刻 $t + t$ における電位分布を格納する記憶手段とを有することを特徴とする情報処理装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】**【0010】**

本発明は上述した課題を解決するため、読み書き可能な記憶手段を有する情報処理装置において、誘電体を有する装置の電位分布を時間 t ごとに解析する解析方法であって、メッシュ分割された前記装置のシミュレーションモデルに対する定常状態の分極を要素ごとに算出し、前記算出された定常状態の分極、および電圧を印加したときの時刻からの時刻 t における分極に基づいて、時刻 $t + \Delta t$ における分極を算出し、記算出された時刻 $t + \Delta t$ における分極から電位分布を算出し、前記記憶手段に格納する解析方法を提供する。